

マンモグラフィ・乳房エコー検査のご案内

女性が一番多くかかるがんは
“乳がん”です

乳がんによって死亡する方は
年間1.4万人以上

乳がんにかかると罹患する方は
年間約9万人

一生のうちおよそ
9人に1人が
乳がんにかかります

乳がんにかかるピークは
40代後半～60代前半
20代から徐々に増え、30代から急増

出典:国立がん研究センター (死亡数:2019・罹患数・率:2017年・年齢別罹患数:2015年)

早期がん (Stage I 期) の5年生存率は 100%! *

乳がん検診を定期的に受診しましょう!

厚生労働省では40歳以上の方に2年に1度の受診を勧めています。
40代未満もぜひご相談ください。可能な方は毎年の受診をおすすめします。

* 国立がん研究センター (5年相対生存率2020)

乳がん検査の種類と料金

○マンモグラフィ

1方向 (50歳以上) →4,950円～
2方向 (40～49歳) →7,150円～

○乳房エコー

3,850円～

* 全て税込みの価格となっております。
* 契約先によって料金が異なりますので、詳しくは当センターにご連絡ください。

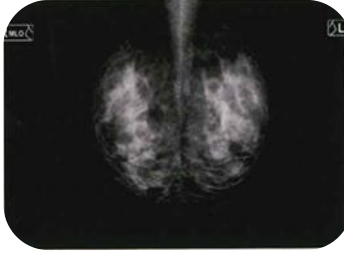
乳がん検診はマンモグラフィと乳房エコーを組み合わせるとより効果的です。

* 検査の詳細、お申込み・お問い合わせ先は裏面に掲載しております ↓

乳がん検診には、マンモグラフィとエコー(超音波)の2種類があり、それぞれ得意とする病変が違います。特徴を知って、自分にあった検査方法を選びましょう。

マンモグラフィ

乳房をプラスチックの板で挟んで薄く伸ばして乳房専用のX線装置で全体を撮影します。



▲この写真は1方向・2方向いずれの場合にも撮影されます。白く写っているのが乳腺です。

- 時間** 5分～10分
- 禁忌** 妊娠中(疑い含む)、授乳中、豊胸術、その他、体内に異物が入っている方
- 利点**
 - しこりとして触れることのできない早期がんのサインである微小石灰化の描出に優れている
 - 検診による死亡率減少効果が科学的に証明されている
 - 乳房の全体像が把握できる
 - 過去画像と比較できる
- 欠点**
 - 痛みを伴う(個人差あり)
 - 被ばくを伴う
 - 乳腺の発達している女性(若い方に多い)は乳腺密度が高く、がんと乳腺の判別が難しい

※妊娠・授乳中の乳腺は発達しているため通常の乳腺の状態と異なり、十分な検査が出来ない場合があります。その期間に受けられた方は、出産・断乳後必ず検査を受けましょう。



乳がん検診はすべて女性技師が担当させていただきます。また、当施設では施設および個人レベルでしっかりと精度管理に取り組んでおります。

エコー

乳房にゼリーを塗り、超音波をあて、上下左右に動かしながら超音波装置に乳房の断層面の画像を写し出して検査します。



▲正常乳房のエコー画像です。画像の真ん中あたりに白く写っているのが乳腺です

- 時間** 5分～10分
- 禁忌** 特になし
- 利点**
 - 痛みを伴わない
 - 被ばくがない
 - 乳腺の発達している女性(若い方に多い)でも腫瘍を発見できる
- 欠点**
 - 早期がんのサインである微小石灰化を見つけにくい
 - 乳房の全体像が把握しづらい
 - 検査術者の技量や経験に左右される

教えて! Q&A!

● いつ検査を受けたらいい?

乳房が張って痛むことがある方は張っていない時期がオススメです(一般的には生理後)。ただし、生理前でも生理中でも検査はいつでも可能です。



● 検診したら大丈夫?

乳がんの早期発見には検診はとっても大切ですが、何の検査においても100%はありません。乳がんは唯一、自分で触れることのできるがんです。自己触診を定期的に行うことが大切です。自覚症状がある場合は次の検診を待たずに、早めに医療機関(乳腺外科)を受診してください。

お申込み・お問合せ先

092-526-1087

「乳がん検査の予約で」と伝えて頂けるとスムーズです。

受付時間 (8:30~17:00)

公益財団法人 福岡労働衛生研究所

○労衛研健診センター 〒815-0081
福岡市南区那の川1丁目11番27号

○天神健診センター 〒810-0001
福岡市中央区2丁目8番36号

○延岡健診センター 〒882-0872
宮崎県延岡市愛宕町2丁目1番5号
TEL 0982-29-4302

